

目次 もくじ

- 02 2018年 年頭のあいさつ
- 04 2018年 町勢功労表彰
- 05 2018年 児童・生徒顕彰
- 06 まちの話題
- 08 MONTHLY TOPICS
- 10 広報暮らしのカレンダー
- 12 NEWS FILE
- 16 Information/戸籍の窓
- 18 介護予防と健康一言コラム/放射能測定結果
- 19 バイバイ!むし歯菌/わが家のアイドル
- 20 Face 一英 としき 才貴さんー
一横田 しほり 菜さんー

《1月号の表紙》
白熱のカルタ大会
最後の一枚は誰の手に



第7回金ケ崎町郷土カルタ選手権大会は1月8日、中央生涯教育センターで開催されました。子どもたちの郷土理解を深め、地域に愛着を持って暮らしてもらおうと毎年開催。選手たちは、読み手の声と場札に集中していち早く札を取ろうと競い合いました。(結果はP 12に掲載)

平成29年 町政 10大ニュース

1	新国民健康保険金ケ崎診療所・歯科診療所完成 10月10日診療開始		
2	一般国道4号金ケ崎区間 4車線拡幅事業化決定		
3	成人式 53年振りに冬開催		
4	旧陸軍省軍馬補充部六原支部官舎 町初の国登録有形文化財に		
5	各部門で文部科学大臣表彰を受賞 ・(一財)金ケ崎町生涯スポーツ事業団 ・三ヶ尻地区公民館(三ヶ尻地区生涯教育センター) ・たぐましいかねがさきっ子育て協議会		
6	高杉時史さん 全日本中学校陸上競技選手権大会 男子100m第6位入賞		
7	平成28年度全国町村議会広報コンクール優秀賞受賞(12年連続入賞)		
8	デンソー岩手 生産体制強化へ新工場建設着手		
9	新たに保育所2園が開園 ・「ゆうゆう保育園いわて」県内初の製造業事業者による企業主導型保育事業 ・「こどもの家ががやき」町内初の家庭的保育事業		
10	新制度による農業委員を任命 農地利用最適化推進委員を新設		

2018年 年頭のあいさつ

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。
皆さまには新しい決意、新しい希望を持ってこの平成30年を迎えられたこととお慶び申し上げます。
昨年日本列島では、異常な気象で各地に豪雨が降り、土砂災害がありで大きな被害をもたらしました。金ケ崎町でも大型台風等ありましたが警戒・対応いただいた住民のみなさんや消防団のみなさんにそれぞれの役割をいただき大きな災害がありませんでした。安心安全なまちづくりを進める中で平成30年を無事迎えられることを感謝いたします。
平成29年は金ケ崎町にとって念願でありました診療所の新築ができました。また、国道4号について拡幅の事業が採択され、その測量が開始されています。地権者の協力をいただいで進めさせていただいており、これは新しい金ケ崎の産業、将来につながるまちづくりの第一歩につながるものだと思います。

平成30年はあと1年と4月で元号が変わるといふ時期を迎えます。時代を大きく変遷し新しい流れが始まる年ではないかと思えます。
金ケ崎町におきましては、第10次総合発展計画3年目の年になります。今年には身を整え、次の時代につながるよう新しい時代に対応できる柔軟性を持ち、政策の遂行、決定、実践という年でありたい。特に金ケ崎町まち・ひと・しごと創生総合戦略の中で具体的に若者が暮らしたいまち、女性にとって魅力的なまち、活力と特色のある地域を創るの3つをテーマにして新たな金ケ崎町のまちづくりが発展と成長を遂げる年になると思っております。

その中で大きな課題は人口減少と高齢化にあります。人口減少と高齢化に歯止めと抑制をしながら金ケ崎らしい自立の町、持続性の高い町、産業力と生活力、住民が幸せを感じる平成30年にならないけません。
金ケ崎町は農業という基幹産業を抱える中で、企業
の皆さんとの産業連携、地域連携、福祉行政が整うような教育を含めた新たな環境づくり、新たな地域づくり、新たな対応が平成30年のキーワードとして取り組まなければならないと思っております。

特に今進めている地域づくりは本番の1年になります。地域づくりを通して地域課題を解決する。地域が抱えていることを地域も行政も関係者が一緒になって対応する。いわゆる地域の自立であり、地域との共助、公助、互助を推進し、町政運営の土台として進めることで共生社会の自立ができると思っております。総互扶助を中心とした新たな町政運営をするため今までの制度、仕組み、ネットワークが見直され、新しい時代への対応が必要とされます。そのため関係者全員が課題に対して取り組むことで、制度疲労を起こしているものは見直し、改革、工夫、改善しながらやっていかなければならないと思っております。

総合力を発揮することで 金ケ崎町の成長と発展が そこに宿る 高橋 由一

